

プラス 1 ピースの読書会

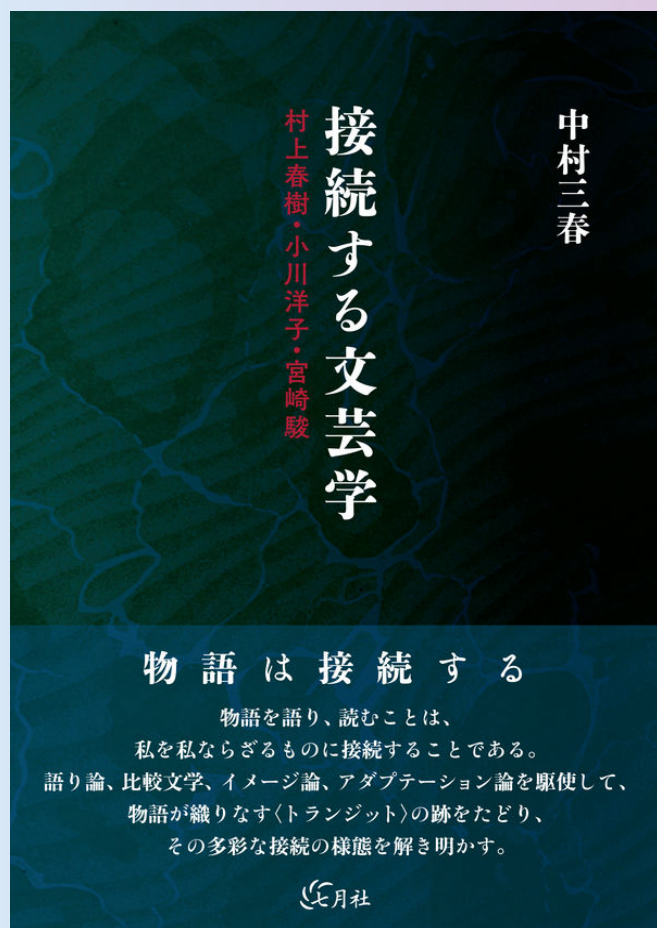
～あなたの読書体験に一片のいるどりを～

Vol. 15

『接続する文芸学 村上春樹・小川洋子・宮崎駿』

中村 三春 著

(七月社 2022 年)



文学作品に真正面から取り組み作品に誘う

文学作品を歴史的、社会的背景から解説する研究が多数を占める中、中村先生の研究は、作品そのものに向き合い「文芸学」の見地から作品を理論的に解き明かしていきます。

中村先生 10 作目の単著のタイトルに記された「文芸学」とはどのような学問なのでしょうか、本書の主要テーマである「物語は接続する」とは何を意味するのでしょうか、なぜ村上春樹・小川洋子・宮崎駿という 3 名の作家作品を取り上げたのでしょうか。

執筆時のエピソードも含め、中村先生に語っていただきましょう。

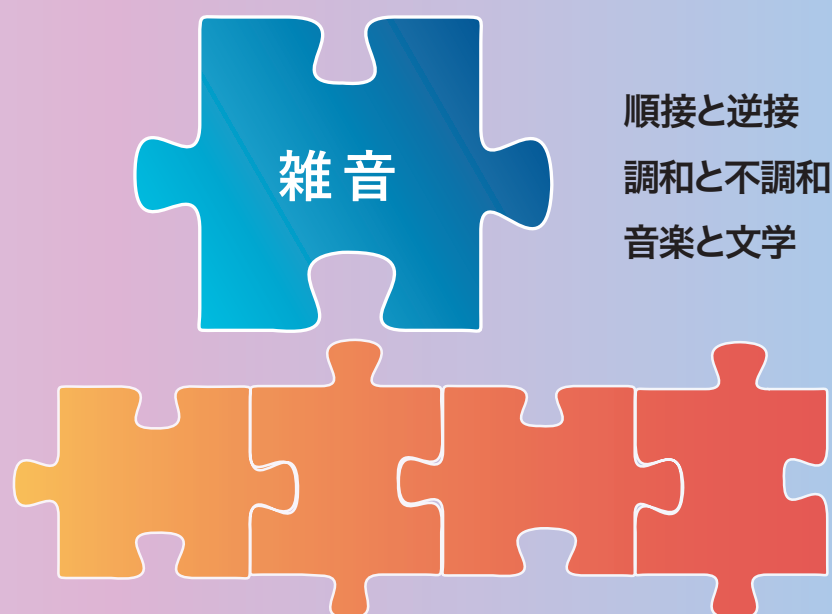
読者を作品に誘う力

理論という「重たい」「鎧」の効用以上に
本書の価値は、具体的作品の読みの提示にある
～千葉一幹氏の書評より～

従来の文芸学の閉鎖性を批判し（略）
ポップで多様なテキストを扱う外向的な
文芸学へと積極的に踏みだしたのである
～高橋由貴氏の書評より～

著者・おはなし： **中村 三春 教授**
(映像・現代文化論研究室)

今回のプラス 1 ピースは？



お問い合わせ先：

北大 文学研究院 研究推進室

Tel: 011-706-4083

詳しい内容：

文学研究院ウェブサイト イベント情報

<https://www.let.hokudai.ac.jp/>

web 書香の森紹介ページ

中村三春教授の著作紹介



主催：北海道大学 大学院文学研究院